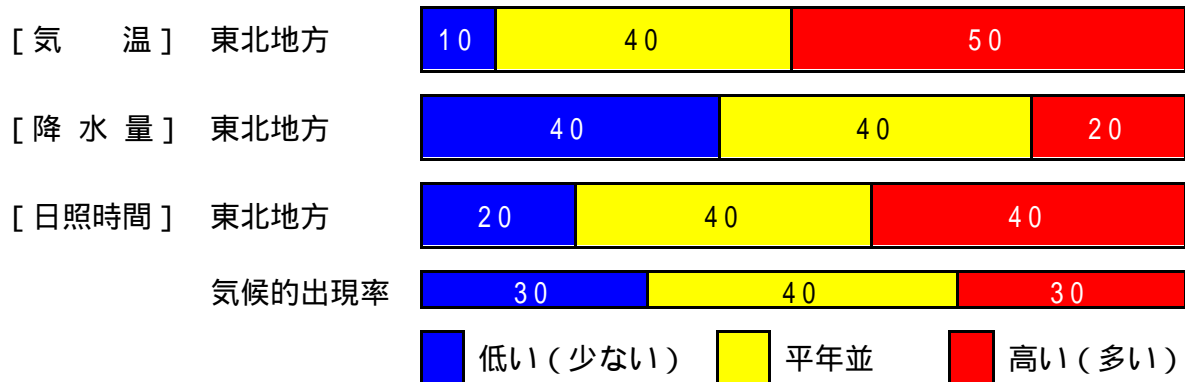


## 東北地方 1 か月予報の解説（予報期間：7 月 29 日～8 月 28 日）

平成 12 年 7 月 28 日 仙台管区气象台

### 1．向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）



- [ 気 温 ]: 東北地方は「高い」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。次に大きい確率は「平年並」で、その確率は 40％です。「低い」の可能性は 10％と小さい。
- [ 降 水 量 ]: 東北地方は「平年並」か「少ない」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40％です。「多い」の可能性は 20％と小さい。
- [ 日照時間 ]: 東北地方は「平年並」か「多い」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40％です。「少ない」の可能性は 20％と小さい。

### 2．予想される天候の特徴

（もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。）

向こう 1 か月

この期間は、太平洋高気圧に覆われて平年に比べ晴れて気温の高い日が多いですが、前線の影響を受ける時期がある見込みです。

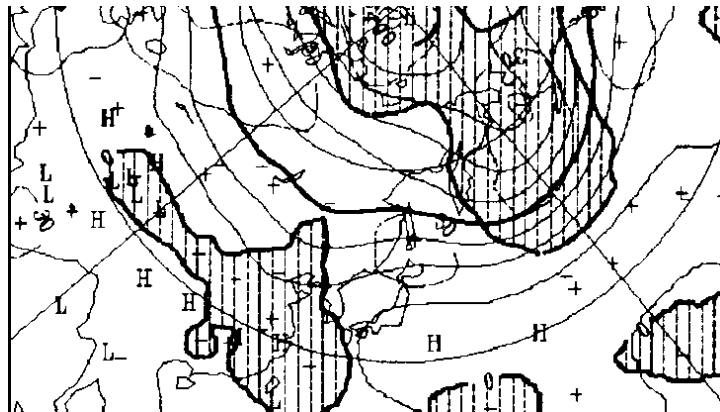
平均気温は高いでしょう。

平年の晴れ日数は、東北地方で約 19 日です。

各予報期間の天候の特徴

- 1 週目…………… 太平洋高気圧に覆われ晴れる日が多いですが、大気の状態が不安定  
(7 月 29 日～8 月 4 日) で、にわか雨のところがある見込みです。  
平均気温は高い見込みです。  
平年の晴れ日数は東北地方で約 4 日です。
- 2 週目…………… 太平洋高気圧に覆われ晴れて気温の高い日が多いでしょう。  
(8 月 5 日～8 月 11 日) 平均気温は高い見込みです。  
平年の晴れ日数は東北地方で約 4 日です。
- 3～4 週目…………… 太平洋高気圧に覆われて平年同様晴れて気温の高い日が多いでし  
(8 月 12 日～8 月 25 日) よう。前線の影響を受ける時期がある見込みです。  
平均気温は高い見込みです。  
平年の晴れ日数は東北地方で約 8 日です。

予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

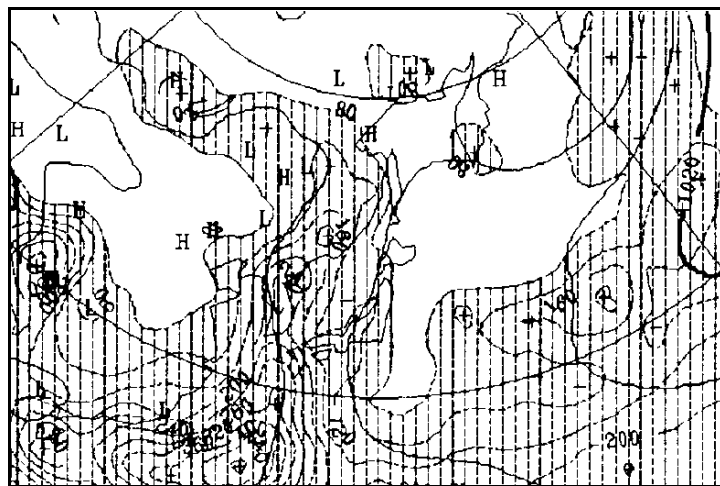


月平均の 500hPa 高度・偏差  
（等高度線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差）

・ 500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、日本付近は正偏差に覆われ、夏型の安定した晴天をもたらす亜熱帯高気圧が本州付近に張り出す。一方、大陸東岸は谷場となって負偏差域が広がっている。

週別（図略）に見ても、日本付近は正偏差に覆われ、亜熱帯高気圧の勢力は平年並～平年より強い状態が続く見込み。ただし3週目以降は、亜熱帯高気圧の勢力がやや弱まる時期があり、前線の影響を受けたり、高気圧の縁辺をまわる湿った気流の影響で大気の状態が不安定となる時期がある見込みです。



月平均の地上気圧と降水量  
（等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上）

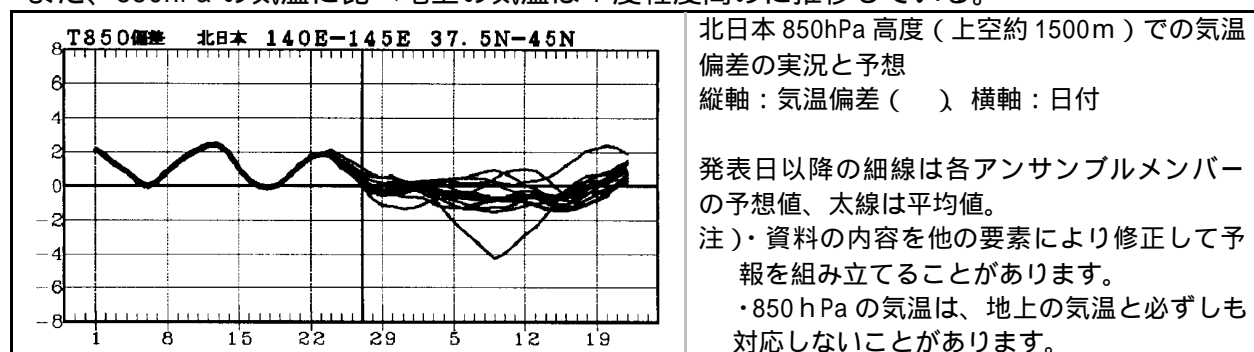
・ 地上気圧と降水量

月平均で見ると、太平洋高気圧は東、北日本を広く覆う。高気圧の西への張り出しは弱く、東シナ海から朝鮮半島付近にかけては、南から湿った空気が入りやすく、まとまった降水域がかかっている。

週別（図略）では、1週目に太平洋高気圧の勢力が最も強まり、東北地方は高気圧にすっぽり覆われ、降水域はかからない。その後太平洋高気圧の東北地方への張り出しはやや弱まり、3週目以降は、太平洋高気圧の縁辺にあたって不安定な天気となる時期がある見込み。

### 3. 北日本 850hPa の気温平年差の実況と各アンサンブルメンバーの予想

北日本 850hPa の気温平年差は、アンサンブルメンバーの平均でみると期間を通して平年並程度で推移する。2 週目に低温を予想するメンバーがひとつある以外は、ばらつきは小さい。また、850hPa の気温に比べ地上の気温は 1 度程度高めに推移している。



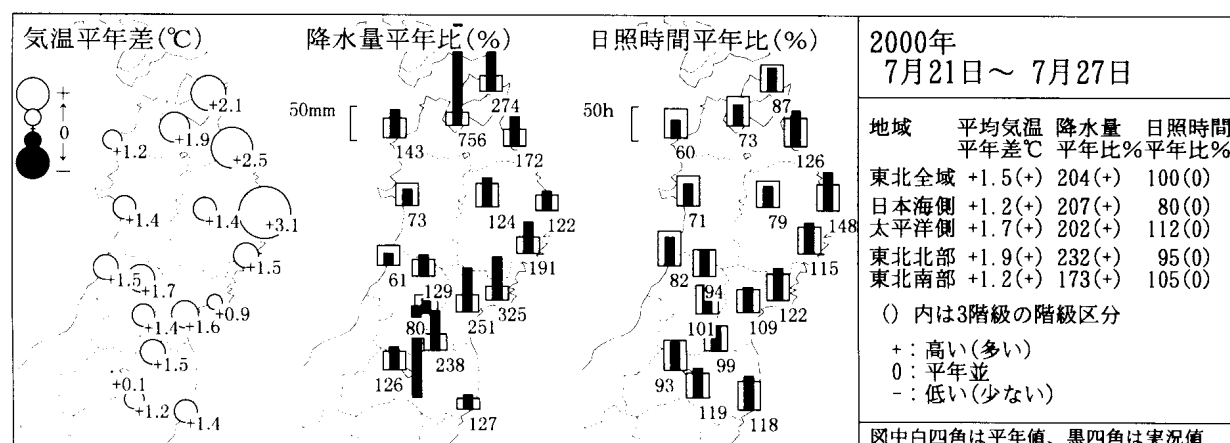
注：1 か月予報では、よく似た初期値から出発した 10 個の数値予報結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します（この手法をアンサンブル予報といい、10 個の予報結果のそれぞれをアンサンブルメンバーといいます）。一般に予報結果がばらつかないほど、大気の流れが予測しやすい状態にあると考えられます。このような状態の時は、信頼度が高くなり、確率の大きな予報を出すことができます。

### 4. 最近 1 週間（7 月 21 日～7 月 27 日）の天候の経過

東北南部は、21～24 日にかけて高気圧におおわれ概ね晴れたが、25～27 日は大陸を南下してきた前線の影響で曇りや雨となった。東北北部は、21 日と 27 日は高気圧に覆われおおむね晴れたが、その他の日は日本海側を中心に前線の影響で曇りや雨の日が多かった。特に 25 日は前線の活動が活発化し、各地で大雨となり、青森では家屋の浸水などの被害が発生した。

なお、東北南部は 21 日頃、東北北部は 27 日頃梅雨明けしたと見られる（但し、この梅雨明けの時期は暫定値であり、後日検証により確定したものが発表されます）。

平均気温は、東北地方で平年差+1.5 と平年より高かった。降水量は、東北地方で平年比 204%と平年より多かった。日照時間は、東北地方で平年比 100%と平年並だった。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

### 5. 梅雨明けについて

	今年の梅雨明け	平年の梅雨明け	昨年の梅雨明け
東北南部	7 月 21 日頃	7 月 23 日頃	7 月 24 日頃
東北北部	7 月 27 日頃	7 月 26 日頃	7 月 26 日頃

但し、今年の梅雨明けの時期は暫定値であり、後日検証により確定したものが発表されます。